



- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：http://eli.holy.jp
- メール：eternalloveisrael@gmail.com
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子



☆ 日本に重荷を持つメシアニック・ジュー ☆

去る7月21日、デイヴィッド&ヴィクトリア・トゥルーベック師ご夫妻をお迎えて、エターナル・ラブ・イスラエル特別集会の時を持たせて頂きました。

猛暑の中、たくさんの方々にご参加いただき本当にありがとうございました。心から感謝致します。「イスラエルと日本とのつながり、そしてこの時代への神の計画」と題して、デイヴィッド師とヴィクトリア師からお証しやメッセージをヘブライ語で聞くことができ、素晴らしい主の御臨在と祝福と恵みで満たされました。主に心から感謝致します。

7月22日、みどり野キリスト教会 Jesus Family Church の西村内弘先生をはじめ、みなさまには大変お世話になり、本当にありがとうございました。「メシアにあって一つのからだである私たちへの啓示」ユダヤ人も異邦人もメシアにあって一つのからだである。デイヴィッド師とヴィクトリア師がメッセージの後、お一人一人に手を当てて祈って下さいました。

デイヴィッド師とヴィクトリア師の日本に対する愛と、日本のための祈り、日本で宣教したいという重荷を心から感謝致します。

エターナル・ラブ・イスラエルでは、これからもデイヴィッド&ヴィクトリア・トゥルーベック師ご夫妻の働きのために祈り、協力していきたいと思っておりますので、みなさまよろしくお祈り致します。



☆ 仮庵の祭りについて

宮本 純子 ☆

ユダヤ暦では秋に新年を迎えます。仮庵の祭りは、ユダヤ教三大祭りの一つです。仮庵の祭りについて簡単にみていきたいと思っております。

「イスラエルの人々に言いなさい、『その七月の十五日は仮庵の祭である。七日の間、主の前にそれを守らなければならない。初めの日に聖会を開かなければならない。どのような労働もしてはならない。(レビ記 23：34～35)あなたがたが、地の産物を集め終ったときは、七月の十五日から七日のあいだ、主祭を守らなければならない。すなわち、初めの日にも安息をし、八日目にも安

(写真：エルサレムのクライストチャーチの仮庵) 息をしなければならない。初めの日に、美しい木の実と、なつめやしの枝と、茂った木の枝と、谷のはこやなぎの枝を取って、七日の間あなたがたの神、主の前に楽しまなければならない。あなたがたは年に七日の間、主にこの祭を守らなければならない。これはあなたがたの代々ながく守るべき定めであって、七月にこれを守らなければならない。あなたがたは七日の間、仮庵に住み、イスラエルで生れた者はみな仮庵に住まなければならない。これはわたしがイスラエルの人々をエジプトの国から導き出したとき、彼らを仮庵に住ませた事を、あなたがたの代々の子孫に知らせるためである。わたしはあなたがたの神、主である』。モーセは主の定め祭をイスラエルの人々に告げた。」(レビ 23：39～44)



(写真:ルーラブとエトログ)

仮庵祭(かりいおさい)は、スコット(Sukkot)とも言います。Sukkot とはヘブライ語で「仮庵」のことです。ユダヤ人の祖先がエジプト脱出のとき荒野で天幕に住んだことを記念し、仮庵を建てて住んだことにちなみます。神様は、イスラエルの民に過越しの祭りから数えて第七(ティシュレ)の月に仮庵の祭りを祝うように言われました。イスラエルの民は荒野での40年間、小さな仮庵に住んでいました。仮庵は、色々な種類の木切れで出来ていて、木の枝がのせてあります。

神様が「動きなさい。」と言われた時にはいつでも仮庵をたたんで移動し、新しい場所に再び建てていました。仮庵の祭りの重要なことは、神様がイスラエルの民に、「毎年仮庵の祭りを祝い、仮庵に8日間住みなさい。」と言われたことです。それは、何千年も前から守られてきました。現在でもイスラエルに行きますと仮庵の祭りの期間、バルコニーやあちこちで仮庵を見る事が出来ます。仮庵の祭りが象徴している意味とは何でしょう。この仮庵は、私たちを表わしているのです。仮庵は、単純に作られています。神様は、私たち人間を土から創りました。私たちのからだは一時的なものであり、地上における人生はとても短く過ぎてしまいます。それは、8日間だけある仮庵のようなものなのです。

仮庵には特別な点が2つあります。一つは、聖なる場所であったということです。もう一つは、ユダヤ人が仮庵を作るとき上に木の枝をのせますが、その間に隙間を作らなければならなかったことです。それは、彼らは永遠の象徴である星をいつも見なければいけなかったからです。仮庵は、神様の臨在が訪れるように、開け放たれてなければなりません。また仮庵は、動かさないものを象徴しているような根が張っている木の下には建てずに、いつも動かせるものでなければなりません。それは、私たちの神への信仰における人生と関りがあります。イエスの教会として、神の民として、私たちは決して一つの同じ場所にとどまることは出来ません。イスラエルの民の前には、日中は雲の柱があり、夜は火の柱がありました。その雲や火の柱が動いた時には、いつでも陣営全体がすぐに動かなければならず、雲や火の柱が一つの場所にとどまったならば、陣営もその場所にとどまらなければなりません。これは非常に霊的な法則です。



「イエスはペテロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るために山に登られた。祈っておられる間に、み顔の様が変わり、み衣がまばゆいほどに白く輝いた。すると見よ、ふたりの人がイエスと語り合っていた。それはモーセとエリヤであったが、栄光の中に現れて、イエスがエルサレムで遂げようとする最後のことについて話していたのである。ペテロとその仲間の者たちとは熟睡していたが、目をさますと、イエスの栄光の姿と、共に立っているふたりの人を見た。このふたりがイエスを離れ去ろうとしたとき、ペテロは自分が何を言っているのかわからない

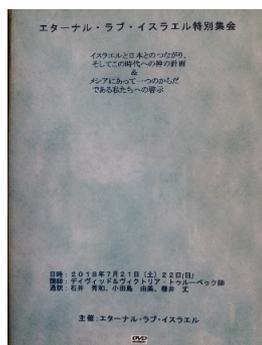
(写真:ペランダや至る所にある仮庵)で、イエスに言った、『先生、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。それで、わたしたちは小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのために、一つはモーセのために、一つはエリヤのために』。彼がこう言っている間に、雲がわき起って彼らをおおいはじめた。そしてその雲に囲まれたとき、彼らは恐れた。すると雲の中から声があった、『これはわたしの子、わたしの選んだ者である。これに聞け』。そして声が止んだとき、イエスがひとりだけになっておられた。弟子たちは沈黙を守って、自分たちが見たことについては、そのころだれにも話さなかった。」(ルカ9:28~36)

イエス様が3人の弟子たちを祈るために山へ連れて行き、彼らの前でまばゆいほどに輝き、変貌されました。そしてモーセとエリヤと話していたのです。モーセは律法の証人であり、エリヤは預言の証人です。イエス様こそが律法と預言の成就なのです。ペテロは「小屋を三つ建てましょう。」と、提案しました。小屋とは、仮庵のことです。雲に包まれて「これはわたしの子、わたしの選んだ者である。これに聞け」と、天からの声が聞こえ、モーセとエリヤが消えた後、イエス様だけがおられました。弟子たちは、イエス様ご自身が仮庵であり、神殿であると理解しました。なぜなら、イエス様ご自身の中に神様の臨在で満ちておられるからです。イエス様こそが「生ける仮庵」であり、真の仮庵の成就なのです。

イエス様の時代の仮庵の祭りの期間中、祭司が毎日エルサレム神殿にシロアムの池から黄金の器で水を汲んで運び、朝晩二回行われる犠牲の際、供え物とともに祭壇に水を注ぎました。イエス様は、生ける水、聖霊のことも語っておられます。「だれでもかわく者は、わたしのところにきて飲むがよい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が川となって流れ出るであろう」。これは、イエスを信じる人々が受けようとしている御霊をさして言われたのである。(ヨハネ 7 : 37~38)

私たちの体である仮庵、神殿が主の御臨在で満たされるなら、私たちの内側からも聖霊があふれ出るのはです。ハレルヤ。「エルサレムに攻めて来たもろもろの国びとの残った者は、皆年々上って来て、王なる万軍の主を拝み、仮庵の祭を守るようになる。地の諸族のうち、王なる万軍の主を拝むために、エルサレムに上らない者の上には、雨が降らない。」(ゼカリヤ 14 : 16~17) 仮庵の祭りは、秋の収穫を祝う最後の刈り取りの祭りです。聖霊に満ちた大きなバイバルの収穫です。イエス様ご自身が真の仮庵を表わしているように、イエス様の満ち満ちたさまを体験し主の栄光で満たされて、イエス様の再臨に備えて神がなされた偉大な御業を覚えていきましょう。

☆エターナル・ラブ・イスラエル DVDのご案内☆



デイヴィッド&ヴィクトリア・トゥルーベック師

「イスラエルと日本とのつながり、そしてこの時代への神の計画」

&

「メシアにあって一つのからだである私たちへの啓示」

* 1000円(税込)です。ご注文は同封の振込用紙をご利用ください。

☆エターナル・ラブ・イスラエルの新しい公式サイト☆

7月下旬に新しく公式ホームページを作成しました。ところが、ホームページの制作をしてくださった管理者(カーネルさん)が8月7日から突然体調を崩し、9日に心筋梗塞と心不全で危篤状態で即入院、10日に緊急で冠動脈バイパス手術(3本)をして無事に成功しました。その後も不整脈を起こして電気ショック治療を施されたり、非常に大変な中にあります。現在も集中治療室で24時間体制で治療を受けています。

カーネルさんは、シャロームホットラインという福音放送局を開局しようとしている矢先でした。

どうか神様がカーネルさんの心臓を強められ、病いを癒してください、完全に回復しますようにお祈りください。

しばらくは、ホームページの更新ができないかもしれませんが、何卒よろしくお願い致します。

公式ホームページアドレス <http://eli.holy.jp>

☆本の紹介☆



「イスラエルへの情熱」—ユダヤ人とイスラエルを愛した福音主義教会の軌跡—
(著)ダニエル・C・ジャスター (訳)石井 秀和 ゴスペル・ライト出版 ¥1200

この本を翻訳してくださった石井秀和さんに心から感謝致します。

この本は、ユダヤ人伝道の神学における歴史がとてもわかりやすくまとめられています。私が以前、奉仕していたエルサレムのクライスト・チャーチのことも書かれてあり、個人的に大変嬉しい本です。ユダヤ人伝道にとってお薦めの一冊です。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が榮えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

- 平和の町であるエルサレムとイスラエルの平和のために。神様の計画と御心だけがなりますように。
- トランプ大統領やネタニヤフ首相、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を進めることが出来ますように。
- イスラエルと日本の政治・文化、あらゆる面で交流が祝福されますように。
- イスラエル国内であらゆるテロが起こらないように、あらゆる攻撃からイスラエルが守られるように。
- ヨーロッパから反ユダヤ主義がなくなりますように。国連とEUが公正公平な機関になりますように。
- 世界中に住むすべてのユダヤ人が、イエシュアを信じて救われますように。
- ユダヤ人に福音が伝えられますように。全世界に福音が宣べ伝えられますように。救われる魂を起こしてください。
- イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人を主が豊かに用いてくださり、さらに救われるユダヤ人が起こされますように。メシアニック・ジューの信仰をさらに強めてください。
- 日本で多くのユダヤ人がイエス・キリストと出会い、救われますように。トラクトを用いてくださるよう。特に、日本を訪問し、滞在するユダヤ人がこの日本で救われますように。
- 日本を旅行するユダヤ人に私たちが神さまの愛を伝え、神様の愛でおもてなしをし、伝道することが出来ますように。知恵が与えられ、働き人が起こされますように。
- 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために、神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者たちが起こされますように。

☆2018年秋のユダヤの祭り☆

- 9月10日(月)~11日(火) ローシュ・ハシャナー(新年) ティシュレ月1日。ユダヤ暦新年は西暦の9月から始まる。ユダヤ暦5779年を迎えます。ティシュレ月1日。神が天地創造を行なったことを記念。新年を祝い、魚のお頭や「甘い年となりますように。」と、林檎にハチミツをかけて食する。
- 9月19日(水) ヨム・キプール(贖罪の日) ティシュレ月10日。ユダヤ教徒は新年のローシュ・ハシャナーから10日間懺悔をし、10日目のヨム・キプールは断食をして昨年一年間の罪を悔い改める。イスラエルで最も重要な日で全ての施設が休み。
- 9月24日(月)~30日(日)スコット(仮庵の祭り) ティシュレ月15~21日。イスラエルの民が出エジプト後8日間仮庵住まいだったことを偲ぶため、仮庵の家を建てて食事をする。秋の収穫を祝う意味もある。初日のみ全ての施設が休み。
- 10月2日(火) シムハット・トーラー(律法の歓喜祭)ユダヤ人は毎週1節ずつトーラー(モーセ五書)を読み、1年間で読了する。次年度また創世記から読み始めるにあたり、トーラーに感謝し、読了を祝う。
- 12月3日(月)~10日(月)ハヌカ(宮潔めの祭り) 紀元前164年ギリシャの異教徒によって汚された神殿をユダ・マカビが潔めた故事に由来する。8枝の燭台(ハヌキヤ)に1日に1本ずつ火を灯す。

2018年9月発行